

おのまち町民の翼「町長と行く韓国の旅」



水原華城にて

おのまち町民の翼「町長と行く韓国の旅」が11月29日から12月2日まで3泊4日の日程で行われました。

今回の旅行は、福島空港が利用者の減少により厳しい状況にあることから、福島空港のさらなる利活用を促進することと、町民相互の親睦と融和を図ることを目的に実施されたもので、町長をはじめ20人の町民の方が参加しました。

旅行では、ソウル市や水原市などを訪れました。ソウル市では、韓国の歴史や伝統文化を分かりやすく紹介した国立中央博物館や世界遺産にも登録されている昌徳宮、河川改修により美しく整備された清溪川などを巡りました。清溪川は、以前は高架道路でふたがされていたましたが、高架道路の撤去と同時に河川の復元



① 水原華城を見学する参加者
② ソウル市民の憩いの場・清溪川



工事が行われ、ソウル市民の憩いの場となっていました。

水原市では、世界遺産「水原華城」を巡りました。李氏朝鮮王朝末期に万里の長城をまねて造られた水原華城は、華城行宮を中心に全長5.7キロの城郭と門、



③ キムチ工場見学
④ 韓民族村にて



砲台などを東西南北に整然と組み込んだ素晴らしい建造物でした。また、住居をはじめ、韓国の伝統的な生活や文化の展示をしている韓民族村や韓国人のソウルフードであるキムチ工場などを見学しました。

おのまち町民の翼は初めての企画でしたが、参加者は、世界遺産の視察や現地ガイドさんの説明などを通して、韓国の文化や歴史、日韓での生活習慣の違いなどについて理解を深められ、強く心に残る旅行となったようです。

六酔会がこまち作業所へ 5万円寄付



六酔会の皆さんとこまち作業所の皆さん

小野町の若手次世代経営者の会六酔会の皆さんが12月6日、夏に行われた「おのまち夏まつり」に出店したときの収益の一部を、町内の福祉施設・こまち作業所へ寄付しました。

六酔会は現在、会員数19人。「小野町に元気を！」をモットーに、毎月1回の勉強会と定例会を行っています。

